

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 敬愛会 主たる事業所(空と虹のアフタースクール)・従たる事業所(びりきーのアフタースクールいちかい)		
○保護者評価実施期間	令和8年3月10日		～ 令和8年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和8年3月10日		～ 令和8年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	主たる事業所・従たる事業所との交流ができる。	・長期休暇中や季節の行事において、主たる・従たる事業所合同での活動を実施しています。普段とは異なる大人数の集団に参加することで社会性の向上や異年齢に対する思いやりの心を育む取り組みを行っています。大人数に不安を感じる児童には、クールダウンの場所を確保するなど、特性に合わせた柔軟な対応を行っています。 ・両施設の児童が一貫した支援を受けられるように、個別の支援計画や配慮事項を職員全員で共有しています。	・主たる事業所では『室内の運動』従たる事業所では『戸外での運動』等の拠点の特色を明確にし、児童が「〇〇したいから主たる事務所へ行く(従たる事業所へ行く)」と選択できる、自己決定を促すプログラムの充実を図ります。
2	同施設併設の高齢者施設、就労支援事務所の利用者に関わりが持てる。	プレゼントを製作する活動は『相手が喜ぶ姿を想像して丁寧に作る』という他者視点の育成を意図しています。 歌やレクリエーション(オセロ・トランプ等)は相手のペースに合わせる、ルールを守って楽しく交流する等の『適応力』の向上を図り、高齢者から褒められたり感謝されたりする経験が自信に繋がるよう、職員が橋渡し役となり、成功体験を積み重ねるための働きかけを行っています。	高齢者施設や就労支援事業所との交流で、互いの『得意』を分かち合う機会を創出し、この経験により、児童が社会の一員として他者に貢献する喜びや自己肯定感や敬意の念を育めるように支援してまいります。
3	食育・アンガーマネジメント・コグトレ等カリキュラムが充実している。経験豊富な職員が多い。	・カリキュラムの実践の様子を保護者の方に伝え、事業所と家庭間で一貫した療育ができるようにしています。 ・全ての活動において、児童の特性に応じた配慮と成功体験を積めるように徹底しています。	経験豊富な職員を軸に、地域社会や家庭との結びつきをより密にし、児童が『自分の力』を実感できる、より実践的なカリキュラムの構築に注力してまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ST・OT・PT・心理士・看護師などの専門職がない。	福祉人材の需給バランスに伴う人材費の高騰により、直接雇用が困難な状況にある。	専門職の直接雇用が困難な現状に対し、巡回指導の活用の検討や職員の専門的な知識の向上を図り、療育環境を整えてまいります。
2	国の基準は満たしているが、利用児の突発的な行動・衝動性・状況に応じた個別対応等時に、職員の不足を感じる。	福祉業界全体での人材不足や採用難の影響を受け、当事業所においても国の基準を満たしているが余裕を確保するのは難しいのが現状。一人ひとりの児童に対してより手厚い個別対応時間が拡充していることと認識している。	職場環境の改善を通じ、安定した人材確保と支援の質の更なる向上を両立させてまいります。
3	敷地内の戸外で身体を思いっきり動かすスペースが足りない。(空虹)	主たる事業所は室内の活動スペースは確保されているが、戸外での安全にのびのびと身体を動かすスペースが十分ではない。立地条件から確保は難しい。	スペースについては、近隣の公園や公共施設の活用や長期休暇時に従たる事業所の活用で活動のバリエーションを広げていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人 敬愛会
空と虹のアフタースクール・びりきーのアフタースクールいちかい

公表日 令和8年4月13日

利用児童数 25

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	3				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1			音の反響がしてしまいうるむなので対応があると良いと思います。吸音など？(空虹)	この度は、音の反響について貴重なご意見を頂きありがとうございます。対策につきまして前向きに検討させていただきます。お子様がより快適に過ごせるよう努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			1		
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2		1	スタッフの対応を統一してくれば、より安心すると思っています。(びり)	職員の対応の差で、お子様や保護者様を困惑させてしまい、大変申し訳ありません。全職員で対応方針を改めて、共有・徹底してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1		2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19		1			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19		1			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1		4	人数が増えたらできる活動も増えると思うので、今までできなかった活動が今後できるとよいと思います。(びり)	ご期待をお寄せいただき嬉しく思います。当事業所の特色や活動を発信し、地域や関係機関との強化をすることで、より多くの方への周知に努めてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	2		4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1		1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	6	1	2		ペアレント・トレーニングの学習会は行っておりませんが、必要に応じて情報提供や実践の方法をお伝えしています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	1		色々と相談できているので助かってます。(びり)	温かいお言葉を頂きありがとうございます。保護者様に寄り添い、いつでも気軽にご相談いただける信頼関係を大切に、迅速かつ丁寧な対応を心がけてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	8	5	2	5		保護者様同士・きょうだい同士の交流ができるような機会を検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	8		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1	1	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	1	3	把握しておらず申し訳ありません。(空虹)	周知不足により不安を与え申し訳ございません。当事業所では定期的な訓練を実施しております。今後は訓練の様子を共有し、安全対策の取り組みを発信してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			2	把握しておらず申し訳ありません。(空虹)	当事業所では、震災や火災を想定した訓練を毎月行っています。消防署による総合避難訓練は年2回行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			2	(回答なし2)(空虹)	事故発生の際は、速やかに連絡や説明をさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	2			楽しく通わせていただきありがとうございます。(空虹)	お子様が「楽しい」と感じられる環境こそが成長の土台であると考え、今後もひとり一人の個性や特性に合わせた、笑顔あふれるプログラムの提供に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2	1		今後は渋らず通所してくれると良いなと思っています。(びり)	安心して通える環境づくりと信頼関係の構築に職員一同で進めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1			Wi-FiがあるとPCの宿題ができるなと思う。(空虹)	Wi-Fi環境の整備について前向きに検討してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 敬愛会 空と虹のアフタースクール・びりきーのアフタースクールいちかい		公表日 令和8年4月13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	6	活動内容やお子さんの状況に基づいたスペースで行っています。活動内容やお子様の状況によって、空間を分けるなど安心して過ごせるよう工夫しています。	利用人数が多い日はスペースが狭く感じる。(空虹)
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	7		利用児の特性や情緒の状態が常に同じではないため、トラブル等があると職員の人数が足りない。(空虹)
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2		・トイレ・水道の高さが使いにくい。(空虹) ・室内が反響するため吸音を検討していく。(空虹)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	常に清潔に保ち、活動後には消毒等の環境整備を行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	・プログラム内容やお子様の状況に合わせて、適宜部屋を分けて活動しています。 ・必要に応じて落ち着けるような静かな場所を提供し、気持ちに寄り添うようにしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			内部、外部研修や学びを深め、職員の資質向上に努めます。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		粗大運動・微細運動・アンガーマネジメント・食育・コグトレ・季節の活動等バランス良く組み合わせて行っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時や連絡帳でその日の様子を伝え、成長等の共有に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	6		保護者の方やきょうだい同士で交流が持てるよう検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1		行事開放については、今後検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			利用を開始する前、通院後など定期的に保護者様と健康上の確認共有を行っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1			